

生ごみ減量に チャレンジ

閩資源対策課 ☎(235)4923

色鮮やかに育った野菜たち。これらの栄養の源となっているのは、家庭から出た生ごみです。

生ごみは、コンポストなどの処理機を使用することで減量できるだけでなく、野菜や花を育む良質なたい肥を簡単に作ることもできます。

生ごみをたい肥に変え、家庭菜園やガーデニングに役立ててみましょう。

表紙と2ページの写真は、コンポストでたい肥を作り、野菜作りに活用している方の畑で撮影したものです。



利用者に聞く！生ごみ処理機リポート

生ごみの減量やたい肥作りには、生ごみ処理機が効果的です。今回は、生ごみ処理機を実際に利用している方にお話を伺いました。

杉久保北在住 加藤さん

使用している生ごみ処理機

「コンポスト(たい肥化容器)」



生ごみを入れた後は土をかぶせると、臭いや虫の発生を防ぐことができます。

自宅で生ごみを処理できれば
楽だと思い、使い始めました。

生ごみだけでなく、落ち葉や草むしり後の雑草も干してから入れています。中がいつぱいになると、上から土をかぶせてスコップでか

き混ぜます。半年ぐらいでたい肥ができるので、ガーデニングの土に混ぜて活用しています。

今までいろいろな肥料を試してみましたが、生ごみからできるたい肥が一番元気に育ちます。ごみの減量になり、たい肥もできるので、ガーデニングや家庭菜園をしている方におすすめです。



大台北在住 平塚さん

使用している生ごみ処理機

「乾燥型生ごみ処理機」



電動で生ごみを乾燥させるタイプで週に1回程度処理しています。

台所で出た野菜の皮やへたなどをそのままに入れ、いつぱいになってから処理しています。臭いや虫の発生が心配でしたが、全く気になりません。音も静かで、最新のごみ箱を使っているという感覚です。市が、購入金額の4分の3を補助してくれるのも、購入の決め手になりました。これからも、ずっと使っていきたいです。



家族で楽しく使用しています。子どもたちも積極的にごみを分別するようになりました。